

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年8月11日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	文学部文学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年7月13日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	オーストリア
留学先大学	ザルツブルク大学(日本語名) Paris Lodron Universität Salzburg(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語、英語/ドイツ語、英語
留学期間	2023年9月～2024年7月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名:人文科学部 現地言語での名称:Faculty of cultural Science <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期:10 月上旬～2 月上旬 2 学期:3 月上旬～7 月下旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	18000
創立年	1622年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料	300	48000 円	語学の授業代は別途個別に支払う必要あり。英語(60 ユーロ)ドイツ語(240 ユーロ)
宿舍費	290	46000 円	1 か月
食費	200	32000 円	1 か月
図書費	0	0 円	
学用品費	115	18000 円	教科書
携帯・インターネット費	20	3,200 円	2 か月に 1 回のチャージ代
現地交通費	274	43,000 円	ザルツブルク市内のバス、電車乗り放題(☑ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	100	16000 円	
被服費	100	16000 円	持参しなかったブーツや夏服など
医療費	161	25800 円	保険適応
保険費	579	92000 円	形態:care Austria(国の保険ではないのでお勧めしない→この保険を適応してくれない病院が多い)
渡航旅費	1869	300000 円	
ビザ申請費	120	19000 円	
雑費	100	16000 円	
その他	1869	300000 円	旅費
その他		円	
合計	6097	975000 円	月付の食費、住居費を含めるとさらにこの費用を上回る

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 東京、羽田 目的地: ザルツブルク 経由地: イスタンブール 復路 出発地: ザルツブルク 目的地: 東京、羽田 経由地: イスタンブール
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: ターキッシュエアライン 料金: 15 万円 復路 航空会社: ターキッシュエアライン 料金: 15 万円 ∴ 合計: 30 万円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: スカイスキャナー) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Home4student) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数2)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
学校のホームページに載っているサイトから一通り申し込みをしました。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
明治大学から留学の許可が下り次第、申し込みを始めたほうが不安になることもないと思うのでいいと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

ザルツブルクは本当に治安が良く、あまり警戒することはありませんでした。基本的な防犯対策をしっかりすれば問題ないと思います。(夜遅く出歩かない、貴重品等を身に離さず持つなど)他のヨーロッパへ旅行に行く際は外務省海外旅行登録「たびレジ」に登録し、危険情報など把握できるようにしていました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネット接続は良好でした。SIMはYesss!という現地のもを使用しました。ほとんどのヨーロッパでSIMが使えたのでよかったです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Bank Austria で銀行口座を開設した後、WISE を利用して送金してもらいました。口座を開設する際予約が必要になってくるので気を付けてください。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

化粧水、洗顔、薬、

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to the Study of Literature	文学入門
科目設置学部・研究科	Dept. of English and American Studies
履修期間	2023 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Herbe, Sarah
授業内容	英語文学における大まかなジャンルを見ていく。
試験・課題等	対面でのペーパーテスト
感想を自由記入	大きく分けて小説、詩、劇の構成や専門的な言葉を作品を通して学ぶことができたのでよかったです。作品分析する際に必要なポイントをおさえられたような気がします。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Pronunciation and Intonation – American English (B2)	音声学
科目設置学部・研究科	Introduction to the Study of Literature Dept. of English and American Studies
履修期間	2023 秋学期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Zehentner, Sarah Eileen
授業内容	アメリカ英語の発音方法を実際に学ぶ
試験・課題等	出席数、プレゼンテーション、口頭試験、筆記試験
感想を自由記入	発音について考えさせられる授業でした。講義形式とは違い授業内でペアワークがあるので、他の学生さんたちと関わりやすいと思いました。そして留学前に音声学の授業を受講していたのもあって授業内容的には理解しやすかったです。一方でそれを実践するのに私は苦勞しました。根気よく練習する必要があると思います。発音向上させたい人にとって良い授業だと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Bilingualism and Multilingualism	バイリンガリズムとマルチリンガリズム
科目設置学部・研究科	Dept. of English and American Studies
履修期間	2023 秋学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Angelovska, Tanja
授業内容	バイリンガリズムやマルチリンガリズムでおこる code-switching とはどんなものであるのかや心理言語学的また言語学的観点からバイリンガルとはどのようなものであるのかを見ていきます。
試験・課題等	オンラインテスト
感想を自由記入	テストでは記述するものが多く出題されたので、少し大変でした。バイリンガルとは何か、どんな特徴を持っているのか、モノリンガルとは違いがあるのかなど、様々なトピックでバイリンガルについて学んでいきます。あまり触れたことのない内容だったのでごく興味深いものでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to English Language Teaching	英語教育入門
科目設置学部・研究科	Dept. of English and American Studies
履修期間	2023 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、対面とオンライン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回
担当教授	Angelovska, Tanja
授業内容	先生と生徒の授業内での役割は何なのか、オーストリアのカリキュラムを交えながら学ぶ。またスピーキングの授業では発音や文法を重視するべきなのか、それとも会話をスムーズに運べるようにすることが重要なのかなど、先生としての在り方を考えていく。
試験・課題等	対面でオンラインのテスト
感想を自由記入	英語教育の面にもすごく興味があり、日本と海外の教育方法を比較してみたいと思っていたので受講できてよかったです。授業の仕方もさまざまなアプローチ方法があることを知れました。テストがパソコンで受ける形だったので、タイピングが遅い私は解答を時間内に仕上げるというのが苦労しました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
German as a Foreign Language. Basic Level I, A1	外国語としてのドイツ語、レベル A1
科目設置学部・研究科	German as a foreign language
履修期間	春学期
単位数	12
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 4 回
担当教授	Kogler, Ines
授業内容	ドイツ語の初歩的な文法から見ていく
試験・課題等	クイズ、ライティングの宿題が5回6回ほど、中間試験、期末試験、
感想を自由記入	この授業が春学期一番楽しかったと思います。文法や新しい単語を学ぶだけでなく、それを実際に日常ではどのように使っているのかまで教えてくださいました。そのためドイツ語を学ぶそして使うモチベーションがこの授業で上がった気がします。特に先生がとても優しく、質問しやすかったり、教科書に載っていないところまで教えてくださいましたのでとても感謝しています。授業数は他の授業より多かったです、同じクラスの子と会話する機会が圧倒的に多かったのも、交友関係が広がるという面でもいいなと感じました。しかし、私が受講したのは一番下のクラスだったので、その分受講者も多かったと思います。もっと上のクラスの方が落ち着いて勉強できることは間違いないと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Upper Intermediate English II, Group a	中級英語
科目設置学部・研究科	Sprachenzentrum
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Kenny, Patrick Michael
授業内容	教科書に載っているトピックの中でスピーキング、ライティング、リーディング、リスニングを行う(ライティングとリスニングは宿題にあてられた)
試験・課題等	中間試験、期末試験
感想を自由記入	教科書に沿いながら、特にスピーキング中心に授業が進んでいったので、意見を英語で言うのが苦手な自分にとってはすごくためになる授業でした。他の学生さんはみんなC1レベルなのではないかと思うぐらい、スピーキングが特に流暢でついていくのは少し大変でした。相当スピーキングに自信がない人は自分が持っている英語レベルの一つ下のレベルの授業を受けると自分のスピーキング力にあったクラスで勉強できると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to English Linguistics	言語学入門
科目設置学部・研究科	Dept. of English and American Studies
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Hadodo, Matthew
授業内容	音声学、統語論、心理言語学などそれぞれの分野を大まかに学ぶ。
試験・課題等	期末試験
感想を自由記入	明治大学で学んだ知識を持ってこの授業に参加できたので、理解がしやすかったです。各専門用語を英語でそれぞれ覚えるのが少し大変でした。linguistic の授業を受けたい人にはお勧めだと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to the Study of Anglophone Cultures	アングロサクソンの文化
科目設置学部・研究科	Dept. of English and American Studies
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Parker, Joshua
授業内容	アメリカ、イギリスを中心として、地理的、歴史的、文学的観点からアングロサクソンの文化について見る。
試験・課題等	期末試験
感想を自由記入	スライドの数も多く要点が絞られているわけではなかったもので、少し理解するには苦労しました。テストは選択問題だったのである程度理解ができるようになれば、単位はもらえると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Civilization of the British Isles	イギリス諸島の文明
科目設置学部・研究科	Dept. of English and American Studies
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Flothow, Dorothea
授業内容	イギリスの歴史、文化等を見ていく
試験・課題等	期末試験
感想を自由記入	中世から第二次世界大戦ごろの歴史やイギリスの政治形態、食文化、メディアなど、イギリスで生活するために知っておくべき最低限の知識を学べます。授業としてはそこまで難しくないので気軽に受けられる授業だと思います。イギリスについて深く知りたいという方はお勧めです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
History of American Literature	アメリカ文学の歴史
科目設置学部・研究科	Dept. of English and American Studies
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Parker, Joshua
授業内容	ピューリタン文学やロマン主義からポストモダニズムまでその時代の文学の風潮について文学作品、作家に触れながら学ぶ
試験・課題等	期末試験
感想を自由記入	アメリカ文学の大まかな枠組みを知ることができて良かったです。ですが作品、作家を覚えるのに時間が足りず単位を落としてしまいました。十分な学習時間がこの授業は特に必要だと思います。



卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	寮探し開始、航空券購入
	8月～9月	無犯罪証明書、アポステイーユを外務省からもらう、IELTS 受験
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	渡航、留学ガイダンス等
	10月～12月	授業開始、
留学/帰国年	1月～3月	一学期期末試験、春休み、二学期授業開始
	4月～7月	授業、中間試験、期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

第二言語としてドイツ語を取っていて実際に使ってみてみたいと思いました。また自分が音楽に以前からなじみがあった、そしてザルツブルク大学で開講されている授業が自分の学びたいものだったのでこの大学に決めました。始めは北欧の大学を希望していたので、オーストリアのザルツブルクという場所は聞いたこともなく、未知の場所でした。でも実際行ってみると自然豊かで騒がしくなく、時間がゆっくり流れる場所で自分にぴったりだなと感じました。だから最初の希望と違う大学であっても落ち込み過ぎなくて大丈夫だと思います。

私は英語メインで学びたかったのでほぼ英語を現地では使っていましたが、もう少し日常会話レベルまでドイツ語ができていればと後悔しました。ほとんどの方が英語も喋れるので生活に支障はありませんでしたが、やはりドイツ圏の文化を知るにはドイツ語ありきだなと思いました。英語で開講されている授業も限りがあるのでドイツ語での授業も受けられると、より授業の選択の幅が広がると思います。

また体力には自信があったのですが、現地で2回ほど体調を崩しました。不要かなと思う薬でも持参すると、現地でも何かあっても安心です。あとは日々運動すると精神的により安定したと思うので、体を動かすのは大事なかなと思いました。

ザルツブルク大学は学部関係なく授業を取れるのがすごく魅力的だなと感じました。その一方で祝日も多かったので結構自分の時間が持てます。友人と過ごす、勉強する、近隣の国に旅行に行ってみるなど時間を有効活用できると良いと思います。これから留学に行く皆さんが羨ましいです！悩むことも多々あるとは思いますが、絶対何とかできるので不安になりすぎず、留学生活ぜひ楽しんでください！